

1.美術分野の目標

美術の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成を目指す。

2.美術の分野を学ぶ意義

- 生徒の学習を積極的に評価し、学習全般の意義や価値を実感できるようになるため。
- 生徒自身が自分の学習や仕事の見通しをたてられるようになるようにし、学習や仕事の過程や成果を評価し、自身で改善や学習意欲の向上を図り資質・能力の育成に活かすようにできるようになること。
- 生徒自身で創意工夫し、自身の学習の成果が円滑に接続されるように工夫することができるようになること。

3.評価の観点について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	<p>知識：対象や事象を捉える造形的な視点について理解することができる。</p> <p>技能：意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。</p>	<p>思考：自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考えることができる。</p> <p>判断：主題を生み出すことができる。</p> <p>表現：豊かに発想し構想を練ることができる。また、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。</p>

4.主体的に学習に取り組む態度について

- より良い表現を目指して構想を工夫改善すること
 - 例 アドバイスなども聞きつつ、自分のアイデアをより良くすることに取り組む
- 粘り強く取り組む態度が感じられること
 - 例 与えられた時間の中で、創意工夫しながら良い作品(良い考え)になるように取り組む
- 美術の知識及び技能を使い、創造活動の喜びを感じ取っていることが確認できること
 - 例 私たちの社会の中や生活の中に学習を活かすことができる
 - 例 授業中や学校や社会の中で、作品などを楽しく鑑賞することができる

美術科 2年生 学習計画と評価基準について

	教科書見出し	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
絵画・彫刻の分野	水と筆を探る1	1回～6回	知識：墨や筆の表現がよさや美しさなどを伝えることを理解している。 技術：墨や筆の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すことができる。	発想：表したいものやイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。 鑑賞：造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と筆使いや水加減の工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	態度表現：墨の造形活動の喜びを味わい楽しく表したり、構想を練ったり、意図に応じて筆使いや水加減を工夫して表したりする学習活動に取り組もうとしている。 態度鑑賞：墨の造形表現活動の喜びを味わい、造形的なよさや美しさや作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる学習活動に取り組もうとしている。
	墨の世界	7回	知識：かたちや動きなどが感情にもたらす効果や、よさや美しさなどを全体イメージで理解できる。	鑑賞：造形的なよさや美しさを感じ取り、人物やかたちや動きから作者の心情や表現したかった事と工夫などについて感じようとしている。	態度鑑賞：墨の造形表現活動の良さや美しさやアイデアと工夫などについて考え、見方や感じ方を広げ、学習に取り組もうとしている。
	水と筆を探る2	8回～16回	知識：水加減による濃淡や筆の運びによる線の勢いなどが墨などの単色によりつくり出されるイメージがよさや美しさなどを伝えることを理解している。 技術：墨などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	発想：感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、墨による表現の効果を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。 鑑賞：造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めようとしている。	態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に墨などの特性を基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする学習活動に取り組もうとしている。 態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める学習活動に取り組もうとしている。
	伝統と継ぐ文化	17回	知識：美術の学習が取り組むべき課題を理解している。	発想：クラス全体の中の自分の表現であることを理解し、実践している。	態度表現：取り組むべき課題に対し、美術の観点から主体的に取り組もうとしている。
デザイン・工芸の分野	手から手へ受け継ぐ文化	18回～20回	知識：形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、良さや美しさなどを理解している。造形的な特徴や技法などを理解している。	発想：身近な自然物などの特徴やイメージ、用いる場面などから形や色彩の構成を工夫したり、調和のとれた美しさなどを考えたり、表現する構想を練ることができる。 鑑賞：人の手による技の素晴らしさや工芸作品の美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい楽しく自然物の特徴などを生かして模様をデザインするなど工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態度鑑賞：創造活動の喜びを味わい主体的に人の手技の素晴らしさや工芸作品の美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考える見方や感じ方を深める学習活動に取り組もうとしている。
	広がる模様（文様）の世界	21回～28回	知識：自然物や人工物などの形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的なよさや美しさなどを理解している。 技術：材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表すことができる。	発想：身近な自然物などの特徴やイメージ、用いる場面などから主題を生み出し、形や色彩の構成を工夫したり、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えたり、表現する構想を練ることができる。 鑑賞：装飾や使いやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい楽しく自然物の特徴などを生かして模様をデザインするなど構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする学習活動に取り組もうとしている。 態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい楽しく装飾や使いやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる学習活動に取り組もうとしている。
絵画・彫刻の分野	様々な技法で描く	29回～35回	知識：画材でできる形や色彩が感情にもたらす効果や、造形的組み合わせの良さや美しさなどを理解している。 技術：絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができる。	発想：感情やイメージなどの心の世界を基に形や色彩、などの効果を考え、創造的な感覚を体験し、心豊かに表現する構想を練ることができる。 鑑賞：造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めようとしている。	態度表現：創造活動の喜びを味わい主体的に感情やイメージなどを基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする学習活動に取り組もうとしている。 態度鑑賞：創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める学習活動に取り組もうとしている。
具体的な評価の方法			作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言・定期テスト	作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言・定期テスト	作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言

